



地域とともにある学校

ふちのべ

<https://fuchinobe-e.sagamihara.andteacher.jp>



令和8年7月16日
相模原市立淵野辺小学校
学校だより
No.5 夏休み号

今月は「ふれあい面談」を実施しました。学級担任と保護者の間で、学校生活や学習の成長の様子、家庭での様子、今後の連携のあり方など、実りある面談となりました。保護者の皆様には来校いただきありがとうございました。

1学期の成長を探る

【今回は表面のみの発行です】

学校長 浅倉 勲

「令和8年度」のスタートから3ヶ月が経過し、明日は1学期の終業式となりました。この間、子供たちは新たな環境に戸惑うこともあったと思いますが、「めざすクラス」「なりたい自分」などを見定めて取り組む中で、確かな成長が見られました。それは、ご家庭や地域の温かい支えがあったからこそと考えております。ありがとうございました。

さて、「個別最適化された学び」や「協働的な学び」という言葉をお聞きになった方も多いと思います。これらは、文部科学省が「令和の日本型学校教育」で両輪として推進する教育方針です。ICTを活用し、個人の理解度や興味に応じた学習（個別最適）と、多様な他者との対話や協力を通じた深い学び（協働）を一体的に充実させることとなっています。

各教室を訪問すると、自分なりの課題やその解決方法を考え、それに沿って学ぶ様子が見られます。また、「話し方」「聞き方」の向上を重点とし、児童が進行役や記録役を務めるなど、協働的な学習場面を見ることも増えました。2学期はさらに、これらの力を伸ばしていけるよう取り組んでまいります。

夏休みは家庭、地域で過ごす期間です。交通事故や水の事故等には十分ご注意ください、安全で楽しい夏休みをお過ごしください。

（写真は上から「6年国語」「4年理科」「火災を想定した避難訓練」）



7月のトピック



卒業生に尋ねる（4年生）



卒業生の方から、当時の学校や地域の様子、子供たちの生活について、教えていただきました。校長室前にある二人用の机を使っていたそうです。

いっしょにあそぼ（PTA）



金魚すくい、けん玉や輪投げ、缶ぽっくりに的あて、楽しみいっぱいの夏まつりを再現。子供たちは楽しいひとときを過ごしていました。素敵なイベントを催していただき、ありがとうございました。